全国地域ＰＦＩ協会

# 公民連携推進に理解

## 地域の住環境整備講演会

官公庁などから約90人が参加した講演会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

ＮＰＯ法人全国地域ＰＦＩ協会（南学理事長）は6日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「公民連携による地域の住環境整備講演会」を開いた。官公庁や一般企業から約90人が参加し、住環境整備における公民連携推進や、国の支援の方向性について理解を深めた。

冒頭、同協会の森戸秀専務理事が「住宅整備など事業を考えている方には有益な情報を提供できると思う。今回の講演を通じて、公民連携の取り組みについて理解を深めてほしい」と挨拶した。

引き続き、国土交通省住宅局の里見晋住宅総合整備課長が「今後の住宅セーフティネット施策の方向性」、同総合政策局の徳永政道官民連携政策課長が「ＰＰＰ・ＰＦＩなど公民連携の推進の方向性」、国土政策研究会の伊庭良知理事が「自治体負担0の定住促進住宅整備スキーム」と題しそれぞれ講演。公営住宅の整備や子育て支援、少子高齢化社会における住宅政策の現状と課題などを解説した。

また、人口減に歯止めを掛けるべく子育て世代の流入を目的に、国の地域優良賃貸住宅制度を活用して定住促進住宅整備事業をＰＦＩで実現したとして、佐賀県みやき町の末安伸之町長が事例を報告。「質の高いサービスが提供でき、コスト削減も図られる」など、ＰＦＩ導入の有用性を訴えた。

今年5月に、東京で行われた国交省講演会の地方版として開かれた同講演会。今後は山口県や青森県でも予定している。

# 労災防止へ安全大会

## 田上建設

田上建設㈱（田上俊廣社長、霧島市）は6日、同市横川町の丸岡さくら館で2013年度安全大会を開き、ゼロ災害の継続を目指すことを誓った＝写真＝。

田上俊介専務取締役は「事故を起こすと被災者はもちろん、家族、会社にも影響をおよぼす。常に一人[illegible]声を掛け合うことが大切だ。安全第一で災害ゼロ、危険源の根絶を目指そう」と挨拶。

表彰では、池田増雄さんに努力賞を授与。続いて、㈱ＮＴＴ西日本―九州鹿児島事業部設備部の原口清治主査が「地下通信ケーブルの設備事故防止」で講話。「切った場合には影響が大きく、多額の賠償もありえる。立ち会いの受け付けを徹底して」と呼び掛けた。

また、横川警察署交通課長代理の舞田和義警部補が交通安全対策、Ａ－ｃｕｂｅ㈱の立元昭子社長がビジネスマナーについて研修を行った。

最後に、施工部を代表して樫原健一さんが「安全十訓」、福元一樹さん[illegible]一さんが「安全大会決議」を読み上げ、大会を終えた。

## カーネギー産業

㈱カーネギー産業（平石宣吉社長）の2013年度安全大会（大島地区）が2日、奄美市の中央公民館金久分館で開かれた＝写真＝。大島営業所、徳之島営業所の社員ら約30人が参加して、「ルールを守る安全職場　みんなで目指すゼロ災害」の大会スローガンの下、1年間の無事[illegible]

大会では、初めに奄美警察署の飯尾浩之警部補が「交通安全に対する意識向上について」と題して講演。飯尾氏は県内で起きた事故の要因や種類、場所など具体的事例を挙げて紹介したほか、飲酒運転について「免停や罰金、ひいては解雇につな[illegible]ことになる。二日酔いにも十分気を付けなくてはいけない」と注意を促した。

安全衛生基本方針発表等のあと行われた安全標語表彰では、管内で入選した奄美営業所の中村千里さんと協力企業の杉山開発から杉山麻雄さんが表彰を受けた。

最後に古川格常務が「社員の命を預かる管理者がしっかりした指導を行うことが大事。重大事故を起こしたら明日は無いという気持ちで1年間無事故で乗り切ろう」と話し、全員で安全に対す[illegible]

# 測量体験に挑戦

## 瀬戸内町で防災教室

県大島支庁瀬戸内事務所、瀬戸内建設業協会などが主催の「夏休み防災教室inせとうち」が4日に同町であり、古仁屋、阿木名、篠川の各小学校から約40人の児童が参加した＝写真＝。

現場見学では、今別府産業㈱施工の通常砂防工事現場で資材運搬用のモノレールに試乗。児童らは総延長160ｍ、勾配45度の坂を高さ80ｍまで上り、植生吹付けの準備作業を行う作業員の様子などを見学した。㈱勇建設施工の急傾斜地崩壊対策現場では測量体験にも挑戦した。

土石流、崖崩れ、地すべり3種類の土砂災害模型を使った実験では、土砂災害が起こる様子を実際に水を流して行った。また工事前と施工後での違いを比較する実験も実施した。児童らはこのあと瀬戸内建設業協会会員の指導でパワーショベルやタイヤローラーなどの重機体験も楽しんだ。

ＤＶＤ鑑賞で避難することの大切さを学んだあと、修了証書を受け取った子どもたちは「いろんな所で多くの人が人の命を守るため働いていることを知った」と感想を述べた。

同教室は、7月21日に宇検村でも開かれた。

# 新しい発見見つけて

## こどもまちづくり探検隊

夏休み恒例の「こどもまちづくり探検隊」が鹿児島市の主催で2日、小学校5、6年生と中学生を対象に行われた＝写真＝。123人が参加し、新川の河川工事などを通して、安心安全で快適なまちづくりの現場を肌で感じた。

同日は、土地の使い方や建物の建て方のルールや道路などの計画を決める都市計画について学んだあと、洪水被害が発生していた新川の河川拡幅とそれに伴う橋りょう新設現場に移動。

現場では、県、鹿児島市の担当者が説明。今回参加した近くに住む武岡小6年の荻田匠くんは「普段は、漠然として橋などを通っていましたが、説明を聞いて何をしているのかが良く分かりました」と話した。

隊長の坂元浩都市計画課長は「今回で13回目ですが、工事中の現場等を通して、かごしまにどんな魅力があるか何か新しい発見をしてほしい」と言葉を寄せた。

南栄リース

# 「川内営業所」を開設

## 地域根差しサービス

南栄リース㈱（植田英道社長、日置市）は、薩摩川内市に「川内営業所」を開設＝写真＝、7月31日、記念式典が現地で行われた。

式典には、植田社長をはじめ、同所社員らが出席。神事では、植田社長らが神前へ次々に玉ぐしを捧げたあと、全員で憲章と行動指針を唱和。最後に、奥之薗悟川内営業所長が「粉骨砕身、所員一丸となって地域に根差したサービスの提供に励みます」と、声高らかに決意表明。出席者らは、今後の安全・安心[illegible]めることを誓った。

式典を終えて、植田社長は「クイック・アンド・レスポンスで事に臨まなければ、これからの時代は生き残っていけない。弊社が柱とする仮設リース・販売はもとより、時代のニーズにマッチした幅広いサービスの提供に心掛けていきたい」と決意を新たにした。

問い合わせは、同営業所（薩摩川内市小倉町6235－1　☎0996・30・2208　ＦＡＸ30・2118）まで。

購読料のお支払いはお手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ